

3団体3人に学長賞

学術研究や社会貢献評価

県立大

総社

沖学長（手前右）から賞状を受け取る受賞者



「SAKURA Project」12人▽ウクライナからの避難者へのインタビューなど
獣被害防止へ人工知能による動物の識別について研究し、国際会議で最優秀に選ばれた大学院情報系工学研究科博士前期課程1年岸孝樹さん(23)▽情報処理などの新進の科学者に贈るヤングリサーチアワード賞を受けた同2年大森卓さん(23)▽建築士への登竜門「建築新人戦2023」100選に入ったデザイン学部3年橋本七海さん(21)。

県立大 団体は、市などと連携し啓発や調査に取り組んだ「引きこもり支援グループ」4人▽倉敷市中心部の商店街で23年まで20年間続いた写真公募展・倉敷フォトミユラルに携わった

を通じ日本との文化比較を冊子にまとめた「マリチカ」4人。
個人は、農作物の鳥

同大で表彰式があり沖陽子学長が受賞者に賞状を手渡した。学長賞は20年3月に設けられ、4回目。

た。3年度の学長賞を贈った。

個人は、農作物の鳥

(寺尾彰啓)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。